

謹賀 新年

「猪瀬知事 金借りるなら今でしょう」(千葉県・白井幸男)の注釈は「先行きが不安」です。(12/20 朝日川柳)

「知事選に出るにあたって生活に不安があったので個人的に借りた」

「よく分からずに5000万円を受け取った」
「政治家としてはアチアチだった…」

ハフィクソ作家の肩書きで道路公団の民営化を検討する第三者委員会に入り、舌鋒鋭く関連会社の不透明な実態を暴露する猪瀬氏は「改革の旗手」でした。ファクト(事実)とエビデンス(証拠)を重視し、データ(資料)にこだわるあの猪瀬氏は一体どこに消えたのか…。都議会の様子をテレビ等で見ながら誰もが感じた事でしょう。

師走の紙面は関連記事や投書で一杯でした。特にジャーナリズムの



真骨頂を発揮したのが12/20の天声人語です。「追及の鋭さは、攻守が変わるやいなや言い訳と開き直りに変容した…辞任会見では『今後は作家として恩返ししたい』と語った。ならば最初の取材対象は

『猪瀬知事』にきめてはどうだろう。『徳洲会マネー』も含め

た深くて骨太のテーマは、作家の血を沸きたたせよう。読みたい人は多いはずだ」(朝日・西部本社版)

確かに徳洲会マネーの全容は未解明のままです。

行政学の新藤宗幸氏は「百条委員会の設置をやめた都議会(与党)も

無責任。真相解明の機会を放棄した」と批判しています。猪瀬氏個人の問題に閉じ込めて済む事柄ではないはずです。

さあ今日は仕事始め。依頼者の立場にたち、今年も職員一同、心を合わせて頑張ります! <2014.1.6>



西馬行政総合事務所

TEL 0977-23-5463 FAX 0977-24-1806

(FAXは日曜・祝日を除く 6:30~20:00 受信可能)

IP 電話 050-3626-3645 (OCN)

Eメール office@nishiuma.sakura.ne.jp



ご鄭重な早々の賀状を当事務所へお出し頂いたお客様には、当『豆ニュース』をもちましてご返礼の書状に替えさせていただきます。誠にありがとうございました。